



ボーダフォン大久保(東京都新宿区百人町1-17-4、山野井慎二店長)は、中国人や韓国人などの外国

ボーダフォン大久保

人が多く来店する国際的なショップだ。周辺に韓国人街などがあるため、店内のPOPには日本語のほか中国語、韓国語が表示され、通常の店と少し趣が違

を母国語として話せるスタッフ。外国人のお客も安心してサービスが受けられる(同店長)と話す。月間平均販売台数は新規が100台、機種変更が300台で、第3世代(3G)携帯電話が9割を占める。外国人のお客からは「帰省しても使いたい」という要望も多く、海外でも同じ番号で端末が利用できる国際ローミング対応の3G端末に人気がある。同店は6月下旬に開店1周年を迎えた。月末に行つた1週間のキャンペーンで

アジア系外国人が半数

中、韓国語に対応

う。

へ積極的に取り組み。

店舗はJR総武線大久保

従業員6人中、4人が中

「帰省しても使いたい」という要望も多く、海外でも

来店するようになってきた。

駅から徒歩1分、JR山手線新大久保駅から徒歩3分の大通り沿いに立地する。

国語、3人が韓国語を話せる(延べ)。中国語と韓国語で対応できるスタッフを2人常駐させ、接客対応し

ベルの維持にも努める。周年を迎えた。月末に行つた1週間のキャンペーンで

「外国人の間での口コミによる来店も多い」(同店長)としており、確かな手応えを感じ始めている。

山野井店長(中央)と同店のスタッフ

「いずれも中国語と韓国語

た1週間のキャンペーンで

1シヨンス

▽運営兼松コミユニケ